

# さんさん、きらきら 第15号

光り、輝く、チーム南陽小 ～考えよう、語り合おう～

令和4年9月22日  
長崎市立南陽小学校  
学校だより  
校長 寺田 成広

## 主任児童委員さんの学校訪問

9月13日、南陽・土井首地区主任児童委員の松尾様、伊藤様が来校し、子どもたちの様子を参観されました。全学級の授業の様子を見ていただいたのですが、「よく集中して授業に参加していますね。」「落ち着いて学習できていますね。」等のコメントをいただきました。

また、教室を移動中に靴箱を見られて、「きれいに並んでいますね。」「この靴箱の様子が子どもたちの落ち着いた授業の姿に表れていますね。」ともおっしゃっていました。



私も南陽小に赴任して、踵部分をきれいに揃えて並んでいる靴を見て感心していました。学校や商業施設で時折見る『はきものをそろえると 心もそろふ 心がそろふと はきものもそろふ ぬぐとときに そろえておくと はくときに 心がみだれない……』を実践しているのが本校の子どもたちと教職員だと思います。嬉しいことです。



## 先生方の学び

保護者の皆様が小学生だった頃、教室には20インチほどのブラウン管テレビが1台設置してあったと思います。現在は、大型テレビとパソコン、AppleTVが各教室に配置されています。

今年度長崎市内全小中学校に、「電子黒板」を導入することになり、本校にも納品されました。これによって、これまでパソコンやタブレットとつないで画面に提示していたのを、電子黒板自体が Wifi 接続されているため機器を介さなくてもよくなりました。もちろんタッチパネルであり、画面上での切り取りや分割、強調表示等もできます。(感覚としては超大型タブレットです)



電子黒板の機能を十分使いこなせるようにと先週研修会を開きました。格段に使いやすくなったとの声がたくさんの方からあがっていました。授業の効率化やユニバーサルデザイン化に大いに役に立ちそうです。



## 避難訓練の実施

昨日の3時間目に、避難訓練を実施しました。今回は、地震発生を想定した訓練でした。緊急地震速報を受けて、子どもたちにとっては「地震発生の際に1番安全と思われる身の処し方を身に付ける、私たち教職員側からだと「どのような放送を入れ、どう指示を出すか」というねらいがありました。

避難時の約束「お、は、し、も、ち」(内容はお子さんにお尋ねください)は変わらないものの、第一波に備えて机の下に入って身を守る、揺れが一旦おさまった間に外に避難する、運動場の法面側は崩落のおそれがあるために体育館側に集合する等が火災時と違っている点でした。事前指導を行っていたため、子どもたちの動きはスムーズでした。今回は、土井首出張所から署員の方に来ていただいて、訓練を見ての気づきや、地震発生時に予想される危険なこと等を話していただきました。万が一地震が起こった際には、安全に避難するのに役立つ訓練になったと思います。

その後に、6年生のみ運動場に残り、練習用の消火器を使って消火訓練の指導をしていただきました。キーワードは「ピ・ノ・キ・オ」です。(操作の手順:ピンを抜く、ノズルをとる、距離をとる、押す)私たち大人も覚えておかねばなりませんね。